

各問題に対する解答は配付したマークシートの解答欄にマークすること。例えば と表示のある問題に対して④と解答する場合は、解答番号 の解答欄の④にマークすること。

1 通訳案内士法に関する各問に関して、それぞれ答えなさい。

(1) 法第 1 条 (目的) について、次の問に答えなさい。

この法律は、全国通訳案内士及び地域通訳案内士の (ア) を定め、その業務の (イ) な実施を確保することにより、外国人観光旅客に対する接遇の向上を図り、もって (ウ) の振興に寄与することを目的とする。

問 1 空欄 (ア) に当てはまる語句として正しいものを次の①~④の中から一つ選びなさい。

(2 点)

- ① 資格 ② 制度 ③ 報酬 ④ 義務

問 2 空欄 (イ) に当てはまる語句として正しいものを次の①~④の中から一つ選びなさい。

(3 点)

- ① 円滑 ② 迅速 ③ 適正 ④ 誠実

問 3 空欄 (ウ) に当てはまる語句として正しいものを次の①~④の中から一つ選びなさい。

(3 点)

- ① 国民経済 ② 国内産業 ③ 国際平和 ④ 国際観光

(2) 次の記述のうち、法の規定に関する記述として正しいものはどれか、①から④の中から一つ選びなさい。

(2 点)

- ① 不正の手段により全国通訳案内士の登録を受けたことにより登録を取り消され、その取り消しの日から 3 年を経過しない者は、全国通訳案内士となる資格を有しない。
- ② 都道府県知事は、全国通訳案内士の業務の適正な実施の確保のため、全国通訳案内士に対し、その業務の終了の都度、報告を求めなければならない。
- ③ 全国通訳案内士の登録を受ける 1 年前に道路交通法に違反して罰金刑に処せられた者は、全国通訳案内士となる資格を有しない。
- ④ 全国通訳案内士でない者は、全国通訳案内士又はこれに類似する名称を用いてはならない。

(3) 次の記述のうち、法の規定に関する記載として正しいものはどれか、①～④の中から一つ選びなさい。(3点)

- ① 全国通訳案内士又は地域通訳案内士でない者は、報酬を得て通訳案内を行うことができない。
- ② 全国通訳案内士となる資格を有する者が全国通訳案内士となるには、全国通訳案内士登録簿に、氏名、生年月日、住所その他国土交通省令で定める事項の登録を受けなければならない。
- ③ 全国通訳案内士が事業を廃止した場合には、当該通訳案内士は、遅滞なく、登録証を添え、その旨を都道府県知事に届け出なければならないが、全国通訳案内士が死亡した場合は、戸籍法に規定する届出義務者若しくは法定代理人は、その旨を都道府県知事に届け出ることを要しない。
- ④ 全国通訳案内士は、登録を受けた事項に変更があったときは、その日から 30 日以内に、その旨を観光庁長官に届け出なければならない。

(4) 次の記述のうち、法の規定に関する記載として正しいものはどれか、①～④の中から一つ選びなさい。(3点)

- ① 全国通訳案内士は、登録証を亡失し、又は著しく損じたときは、その日から 30 日以内に観光庁長官にその再交付を申請しなければならない。
- ② 全国通訳案内士は、その業務を行う前に、通訳案内を受ける者に対して、登録証を提示しなければならない。
- ③ 全国通訳案内士は、その業務を行っている間は、登録証を携帯しなければならないが、通訳案内を受ける者以外から請求があった場合は、一切、これを提示することを要しない。
- ④ 全国通訳案内士は、10 年ごとに登録研修機関が実施する通訳案内研修を受けなければならない。

(5) 次の記述のうち、法の規定に関する記載として正しいものはどれか、①～④の中から一つ選びなさい。(3点)

- ① 全国通訳案内士は、通訳案内を受ける者のためにする物品の購買その他のあつせんについて、販売業者との間であつせん契約を締結すれば、金品を収受することができる。
- ② 全国通訳案内士は、緊急の場合において、やむを得ないときは、通訳案内を受けることを強要することができる。
- ③ 全国通訳案内士は、全国通訳案内士の信用又は品位を害するような行為をしてはならない。
- ④ 全国通訳案内士は、通訳案内研修のほか、旅行業協会が実施する定期研修を受講し、全国通訳案内士として必要な知識及び能力の維持向上に努めなければならない。

2 旅行業法に関する各問に関して、それぞれ答えなさい。

(1) 法第 1 条 (目的) について次の問に答えなさい。

この法律は、旅行業等を営む者について登録制度を実施し、あわせて旅行業等を営む者の業務の適正な運営を確保するとともに、その組織する団体の適正な活動を促進することにより、旅行業務に関する (ア) の維持、旅行の (イ) 及び旅行者の (ウ) を図ることを目的とする。

問 1 空欄 (ア) に当てはまる語句として正しいものを次の①～④の中から一つ選びなさい。
(2 点)

- ① 適正な取扱い ② 契約の自由 ③ 取引の公正 ④ 確実な手配

問 2 空欄 (イ) に当てはまる語句として正しいものを次の①～④の中から一つ選びなさい。
(2 点)

- ① 円滑な実施 ② 企画の充実 ③ 健全化の推進 ④ 安全の確保

問 3 空欄 (ウ) に当てはまる語句として正しいものを次の①～④の中から一つ選びなさい。
(2 点)

- ① 利便の増進 ② 権利の増大 ③ 利益の確保 ④ 需要の増大

(2) 旅行サービス手配業に関する次の記述のうち、正しいものはどれか、①～④の中から一つ選びなさい。
(2 点)

- ① 旅行サービス手配業とは、報酬を得て、旅行者の依頼により、運送等サービス又は運送等関連サービスを提供する者との間で、代理して契約を締結し、媒介をし、又は取次ぎをする行為を行う事業をいう。
- ② 報酬を得て、全国通訳案内士及び地域通訳案内士以外の者による通訳案内の提供に関する手配のみを行う場合は、旅行サービス手配業の登録を要しない。
- ③ 旅行業者は、旅行サービス手配業の登録を受けなくとも、旅行サービス手配業務を行うことができる。
- ④ 旅行サービス手配業務取扱管理者は、他の営業所の旅行サービス手配業務取扱管理者を兼務することができる。

(3) 次の記述のうち、法の規定に関する記載として正しいものはどれか、①～④の中から一つ選びなさい。(3点)

- ① 旅行業者が、外国人旅行者を対象とした募集型企画旅行契約を締結したときに、遅滞なく旅行者に対して交付する書面には、全国通訳案内士若しくは地域通訳案内士の同行の有無を記載しなければならないが、取引条件の説明をするときに交付する書面には、当該事項を記載しなくてよい。
- ② 旅行業者が、旅行者の便宜のために土産物店等に旅行者を案内する行為は、禁止行為に該当する。
- ③ 旅行業者は、企画旅行を実施する場合において、旅行に関する計画に定める旅行者に対してのサービスの確実な提供を確保するため旅行の開始前に必要な予約を完了させなければならないが、その他の措置は講じなくてもよい。
- ④ 旅行業者は、企画旅行を実施する場合で、旅行に関する計画に定めるサービスの内容の変更を必要とする事由が生じた場合は、代替サービスの手配及び当該サービスの提供を受けるために必要な手続の実施その他の措置を講じなければならない。

12

3 全国通訳案内士の実務に関する各問に関して、それぞれ答えなさい。

(1) 次の記述のうち、正しいものはどれか、①～④の中から一つ選びなさい。(3点)

- ① 全国通訳案内士が旅程管理主任者として、手配旅行に参加する旅行者に同行する場合は、旅行業法で定める旅程管理を実施することが義務付けられている。
- ② 訪日外国人旅行者が日本国内の免税店にて免税販売を受ける場合、当該旅行者はパスポートを提示しなくてもよい。
- ③ 訪日外国人旅行者が、日本を訪れる以前に何カ国かを周遊している場合、当該旅行者の時計が日本以前の時刻のままになっていることがあるので、集合時間の周知の際は注意が必要である。
- ④ 旅行業者が実施する企画旅行においては、自由行動中又は離団中は、たとえ旅行者が旅行業者にその旨を届け出ていたとしても、特別補償の対象外となる。

13

(2) 次の記述のうち、正しいものはどれか、①～④の中から一つ選びなさい。(3点)

- ① TV (Technical Visit) とは、特定の興味や目的に絞ったツアーのことである。
- ② MICE とは、工場見学など、先進技術等の視察旅行のことである。
- ③ Shore Excursion とは、DMOなどが、海辺の総合リゾートへのインバウンドの誘致のために、旅行業者やブLOGGERなどを対象に無料で実施する小旅行のことである。
- ④ Overland Tour とは、クルーズ船の旅客が船を離れ陸上移動しながら旅行するツアーである。

14

4 通訳案内業務の関係法令に関する各問について、それぞれ答えなさい。

(1) 通訳案内業務の関係法令に関する次の記述のうち、正しいものはどれか、①～④の中から一つ選びなさい。 (3点)

- ① 道路運送法では、災害のため緊急を要する場合であっても、自家用自動車（事業用自動車以外の自動車をいう。）を有償で運送の用に供してはならないと規定されている。
- ② 住宅宿泊事業法（民泊新法）では、住宅宿泊事業者は、都道府県知事等に届け出た同法第2条第1項に規定する住宅に、年間を通じていつでも人を宿泊させることができると規定されている。
- ③ 著作権法では、私的使用のための複製であっても、他人の著作物について自由にできないと規定されている。
- ④ 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律では、医薬品、医薬部外品、化粧品、医療機器及び再生医療等製品の名称、製造方法、効能、効果等に対して性能に関して誇大広告を禁止している。

(2) 不当景品類及び不当表示防止法（以下この設問で「景品表示法」という。）に関する次の記述のうち正しいものはどれか、①～④の中から一つ選びなさい。 (2点)

- ① 優良誤認表示とは、商品・サービスの「価格その他の取引条件」について、実際のものや競争事業者のものよりも著しく有利であると一般消費者に誤認される表示をいう。
- ② 景品表示法においては、全国通訳案内士が、商品・サービス事業者と一体となって不当表示を行ったと認められるときは、全国通訳案内士も規制対象となる。
- ③ 景品表示法で「表示」とは、事業者の顧客を誘引するための手段としてパンフレット等の紙媒体、又はテレビ、ラジオ、インターネットを通じて行う広告に限定され、口頭説明は含まれない。
- ④ 商品又は役務の取引に関する事項について、一般消費者に誤認されるおそれがある表示については、不当表示とはされない。

5 外国人ごとの生活文化や食事制限への対応に関する各問について、それぞれ答えなさい。

(1) 観光庁の訪日外国人消費動向調査に関して説明した以下の文章に関して、次の各問に答えなさい。

観光庁の訪日外国人消費動向調査 (2016 年) による「訪日前に期待していたこと」では、(ア) が 69.7% で第 1 位、続いて (イ) が 55.3%、自然・景勝地観光が 44%、(ウ) が 39.0% となり、(ア) への期待は他を大きく上回っている。

問 1 空欄 (ア) にあてはまる語句として正しいものを①～④の中から一つ選びなさい。

(2 点)

- ① 温泉入浴 ② 日本酒を飲むこと ③ 四季の体感 ④ 日本食を食べること

問 2 空欄 (イ) にあてはまる語句として正しいものを①～④の中から一つ選びなさい。

(2 点)

- ① ショッピング ② テーマパーク ③ スポーツ観戦 ④ 舞台鑑賞

問 3 空欄 (ウ) にあてはまる語句として正しいものを①～④のなかから一つ選びなさい。

(2 点)

- ① 古い町並み歩き
② 繁華街の街歩き
③ 映画・アニメ縁の地訪問
④ 若者に人気のスポットめぐり

(2) 食物アレルギーに関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか、①～④の中から一つ選びなさい。

(3 点)

- ① アナフィラキシーは、蜂の毒が原因で生じるアレルギー症状であり、食物アレルギーの症状としては存在しない。
② 消費者庁が食物アレルギーを起こす食べ物として表示義務等を規定している 7 品目には、パクチー (香菜/シャンツァイ) が含まれる。
③ 観光中に食事の予定がある場合は、お客様の食物アレルギーの有無を出来るだけ早くチェックし、該当した場合は直ちに利用予定の飲食店に報告をする必要がある。
④ ピーナッツ (落花生) は、アレルギー症状が重篤であることが知られているが、ピーナッツ類とナッツ類は分類上異なる食品であるため他のナッツ類に関しては、アレルギー症状が出ることはない。